

●全国高等専修学校協会 教職員研修会

8月26日、東京都・アルカディア市ヶ谷を会場として、全国高等専修学校協会の「平成26年度教職員研修会」が12名の参加者を得て開催された。

清水信一会長、岡部隆男研修委員長が開会あいさつを述べ、第1部「アンガーマネジメント入門講座」をテーマに、日本アンガーマネジメント協会公認の篠真希ファシリテーターが講演。アンガーマネジメントとは、アンガー＝怒り、マネジメント＝配分すること。怒りとは、怒るものか、怒らないものか、区別できていないことが問題である。怒りの性質＝対象が身近なほど強くなる（コントロールできるという思い込み）、高いところから低いところへ流れる（怒りの連鎖）、伝染しやすい、エネルギーになる（行動を起こすモチベーションにもなる）。

続いて、第2部「ゆめを語ろう ゆめを創ろう」をテーマに、若者サポートステーションやまとの原田秀昭総括コーディネーターが講演。若者自立支援とは、①見立て、②支援方法の確認、③支援対象者への働きかけ、④支援対象者の自己理解、⑤最初の一步のきっかけ、⑥方策の実施。子ども・若者支援の3つの重点課題は、子ども・若者が生き生きと、幸せに生きていく力を身に付けるための取組。困難を有する子ども・若者やその家族を支援する取組。地域における多様な担い手の育成。であると説明し、今後も高等専修学校等との学校連携推進事業等を推進して就職・職場定着の自立活動・就労支援を継続することを説明した。